

実践事例

高等部／領域・教科を合わせた指導：作業学習（事務作業）

『仕事の決まりを守って、頼まれた量の仕事に時間いっぱいパンの受注作業をしよう』

1. 生徒の実態と望む姿

- ・高等部2年生、女子
- ・わからないときや困ったときに「うーん」と言って作業が止まることがある
- ・仕方を見せると、やり方が分かって一人で取り組む
- ・友だちの言動が気になり仕事に集中できないことがある
- ・自分のペースで仕事が出来ないときにイライラし、友だちに対して乱暴な言葉を使ったり、物を乱暴に扱ったりする

そこで、本題材では以下の望む姿を設定した

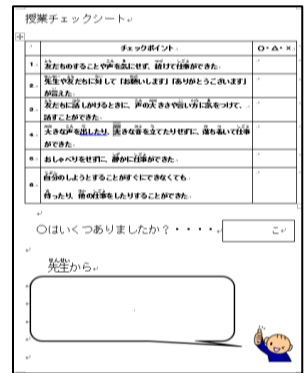
仕事のきまりを守って、手順表を見て依頼されたパンの受注作業を終えるまで、続けて取り組む

2. 授業のポイント

ポイント1 仕事のきまりを守って作業に取り組むための工夫

《どのような支援を行うを検討》

- 本人と一緒に納得できる仕事の中でのきまりを設定する。
- 設定したきまりは、いつでも自分で確認ができるようにチェックシートにする
- 望ましい行動が増えるように他の教師と連携して一貫した指導をする
※指導のポイントきまりが守れているとき、チェックシートに丸印を書き、すぐに本人に知らせる



《自立活動の指導とどのように連携した指導をするかを検討》

- 自立活動の指導で使用している支援ツール『心のメーター』を作業時にも活用する
※『心のメーター(右写真)』…心の状態を0・1・2の段階に分け、自分の今の心の状態を視覚的に振り返るためのシート(いろいろなときには深呼吸して気持ちを落ち着かせることを一緒に決めている)
- いろいろなときに正しく対処できるように、他の教師と連携し一貫した指導をする
※イライラした様子が見られた場面で、すぐに『心のメーター』を見せ、深呼吸をするように促す。気持ちを落ち着けた時は、すぐに認める

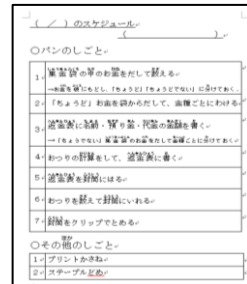
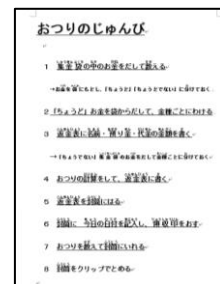


授業構想チェックシート(作業学習) 意欲チェック はたらきかけの工夫 ⑩ P. 7参照
内容チェック 学習環境: 教具の工夫 ① P. 3参照

ポイント2 任された仕事に時間いっぱい取り組むための工夫

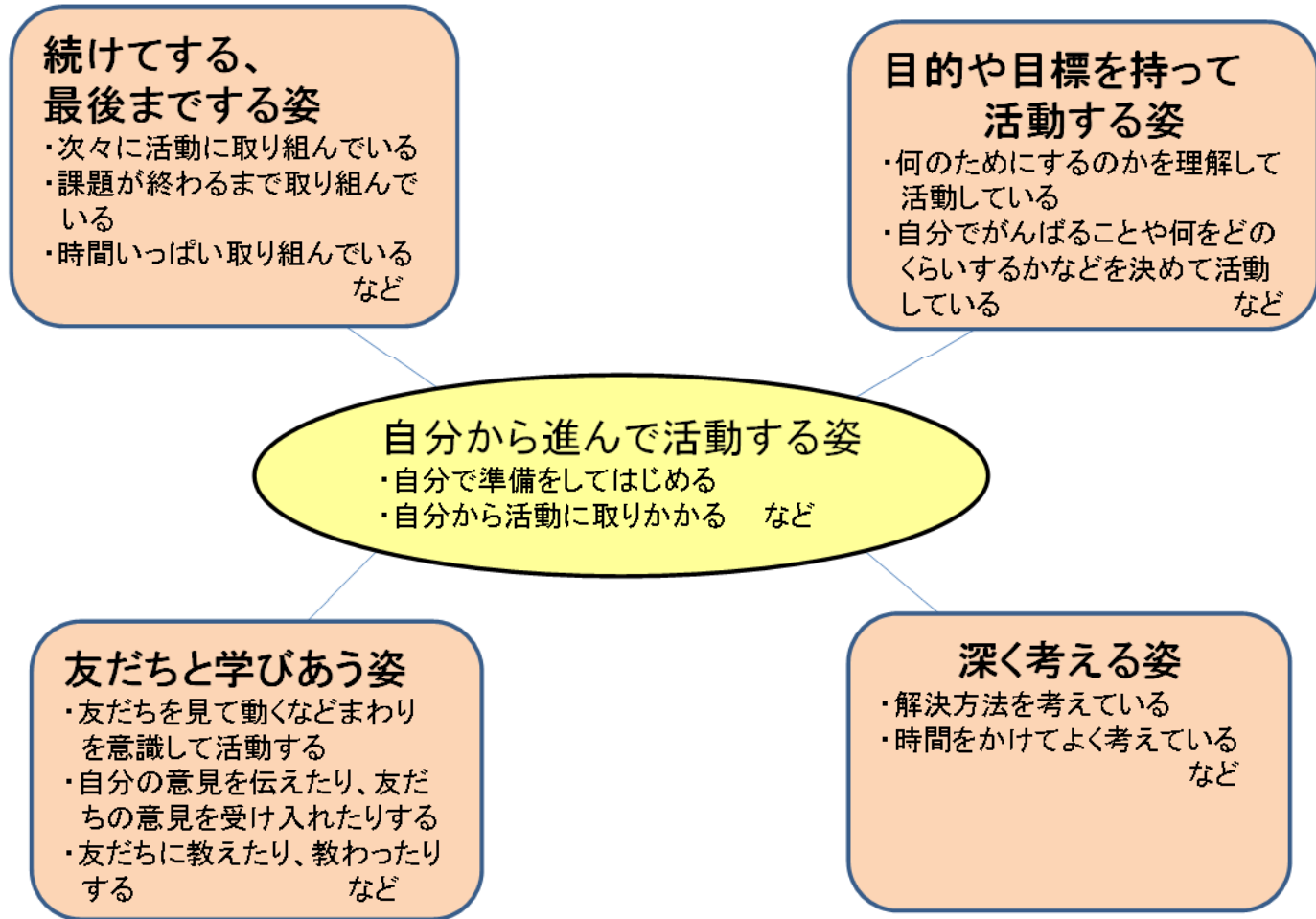
《任された仕事に取り組むためにどのような支援をするか検討》

- 本人の自分の作業分担と作業手順が視覚的に確認しやすい形式の手順表を作成
- いつでも作業手順が確認できるように手元に置いて作業をするようにする。
- 分からないことがあれば自分から教師に尋ねられるように、教師は離れた位置から見守る（教師の立ち位置の工夫）



授業構想チェックシート(作業学習) 意欲チェック 学習活動: 導入時の工夫 ⑥ P. 6参照
内容チェック 学習環境: 教具の工夫 ① P. 3参照

児童生徒が意欲的に取り組む姿



自分から進んで活動する姿を基盤にし、
児童生徒一人一人のより意欲的な姿が現れる